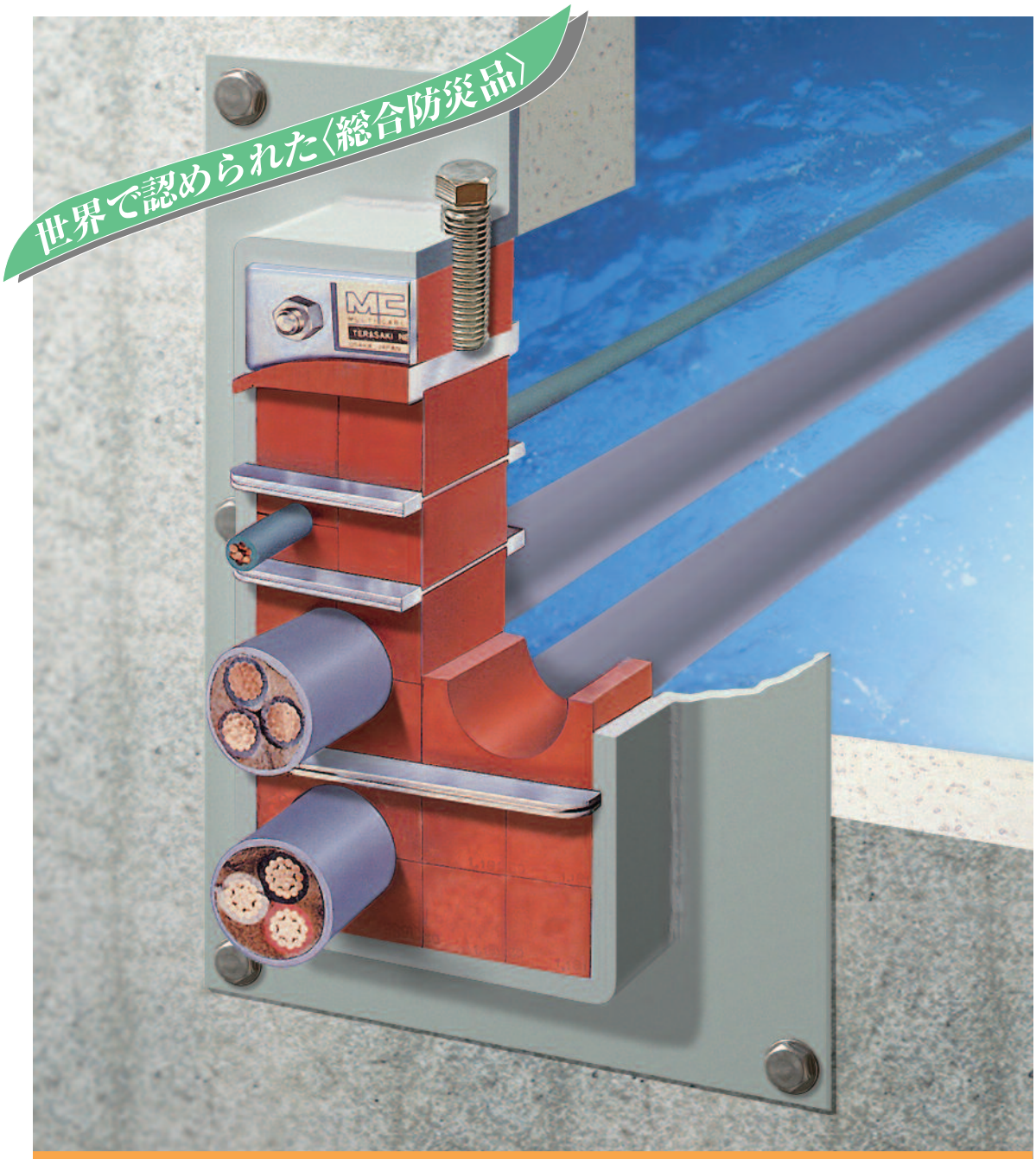
TERASAKI

TemProof

MCT マルチケーブルトランジット

防水・耐火・気密等の防災措置工法



ケーブルの壁・床貫通用〈総合防災品〉

寺崎電気産業株式会社

合理的なパーツ構成が総合防災の証です。

1 貫通フレーム

フレームは鋼板製、防錆処理を標準としています。
取付け方法は、「表面への取付け」と「コンクリートへの埋込み」のどちらにも対応します。
また標準以外の特殊なフレームも製作できます。

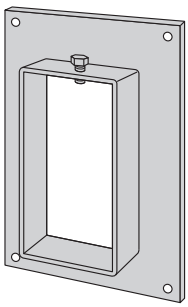
●フレームの種類

- フレーム
  - 表面取付け用
    - 標準型　RGS
    - 一端開放型（特殊）RGSO
  - コンクリート埋込み用（特殊）

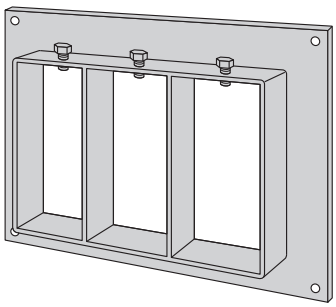
●表面取付け用

標準型

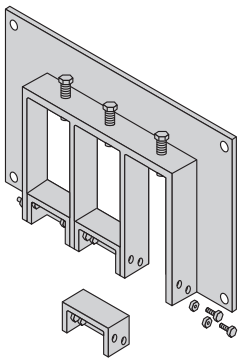
RGS型（1連）



RGS型（3連）

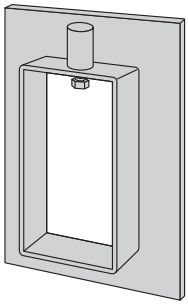


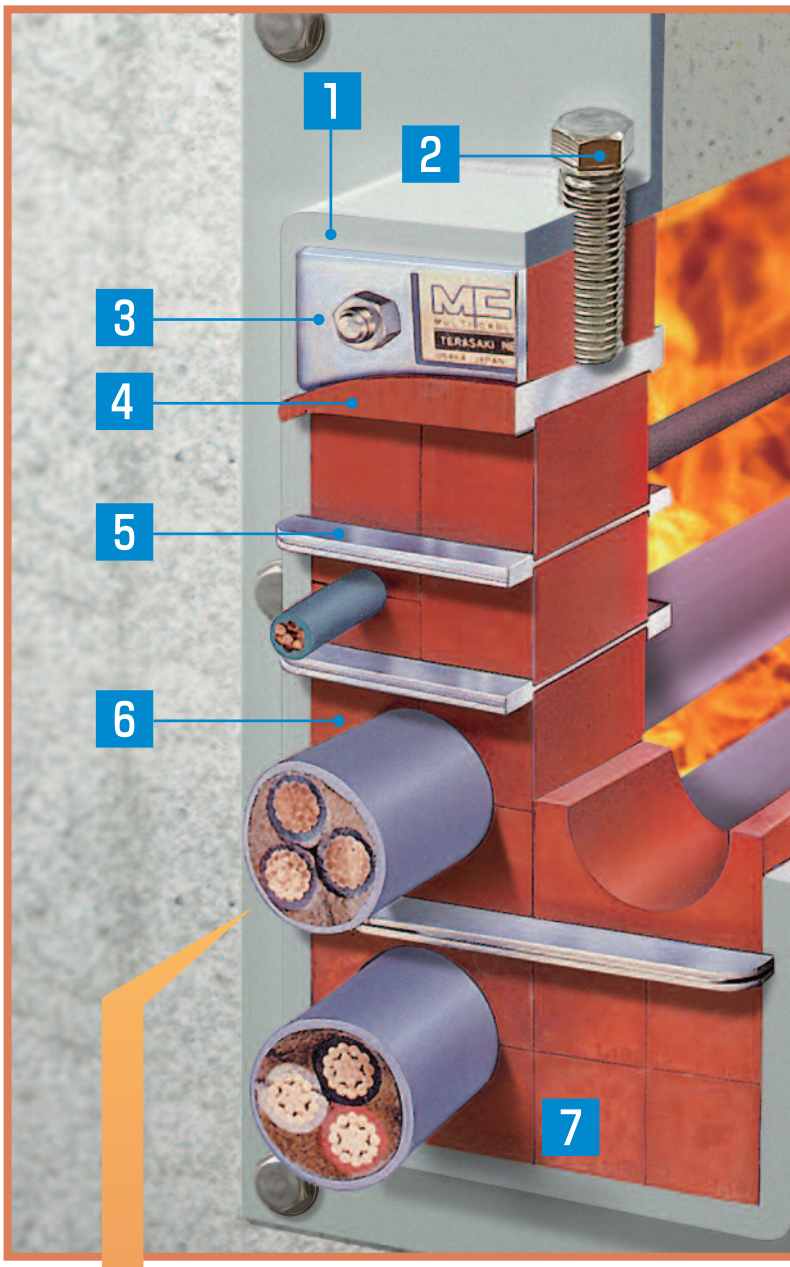
一端開放型（特殊）
RGSO型



はめこみユニット

●コンクリート埋込み用（特殊）

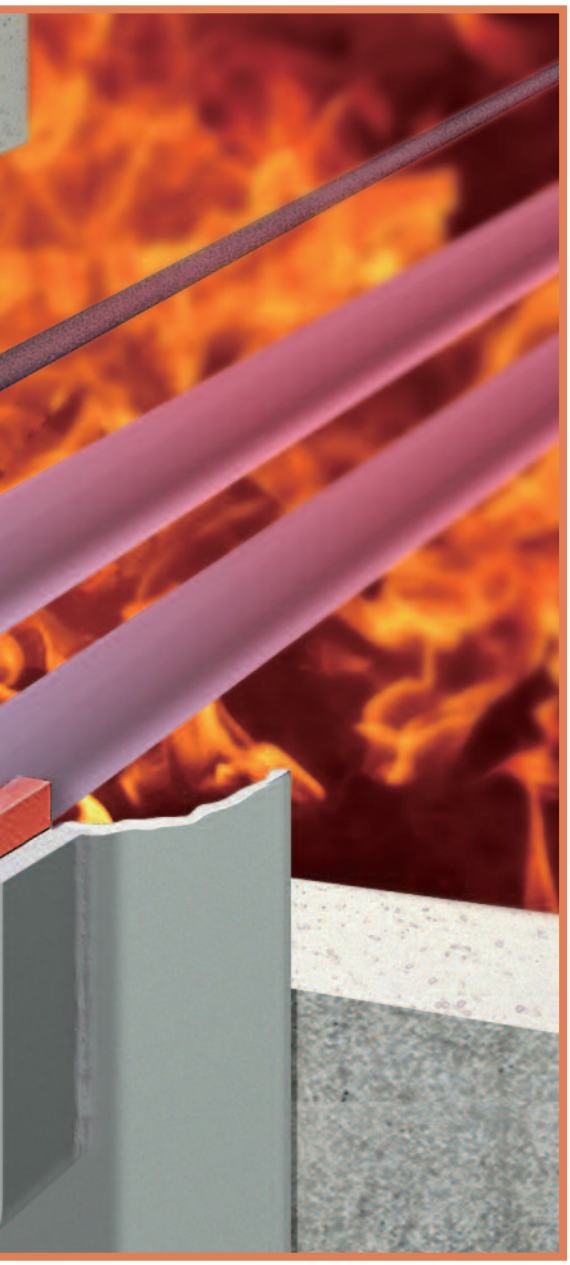




すぐれた耐火原理です。

特殊な材料でできているインサートブロックは、つぎのような働きで炎や煙を完璧にシャットアウトします。

火災でケーブルの被覆材が燃焼
↓
インサートブロックは火災で膨張
↓
インサートブロックが電線の周囲を完全にシール
↓
インサートブロックは炭化
↓
安定したシールが形成され炎や煙を完璧にシャットアウト



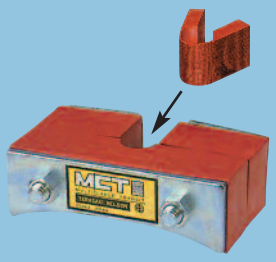
ケーブルの被覆材は燃え尽き、素線だけが焼けただれて残ります。

インサートブロック表面は炭化。

2 圧縮ボルト

締付ける場合、このボルトで圧縮プレートを押さえます

3 エンドパッキン

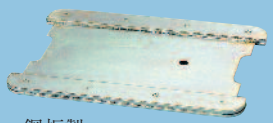


防水、気密性、耐火を完全に保つため、インサートブロックを圧縮します。

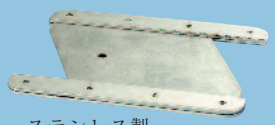
4 圧縮プレート（鋳鉄製）

インサートブロックを保持し、圧縮します。

5 ステイプレート



鋼板製



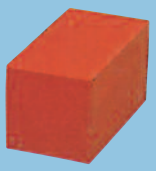
ステンレス製

インサートブロックの各段の間に入れ、貫通フレーム内のインサートブロックを確実に保持します。

6 インサートブロック

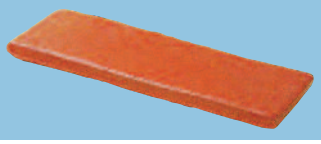
一対になったブロックは、弾力性のある特殊材料を素材とし、中心が完全円形となった貫通路です。

7 インサートブロック（スペア）



スペアは、将来の増設や充填物として使用するため穴なしとなっています。
(穴あけ加工は行わないで下さい)

CVTケーブル用パテ



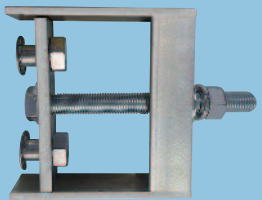
シーラー

防水、気密用にMCTをお使いの場合にシーラーをご使用下さい。上の写真のように中心部分に塗布して下さい。またフレーム内の四隅にも注入して下さい。
(シーラーは1フレームに1本ご使用下さい。)

潤滑剤

MCTの組立て段階で使用します。これをインサートブロックとエンドパッキンの外表面に塗布することによって、組立作業が円滑化します。また、電線を貫通して圧縮する際にも、互いのブロックをスライドさせ調整させる働きがあります。(1フレームに1個ご使用下さい。)

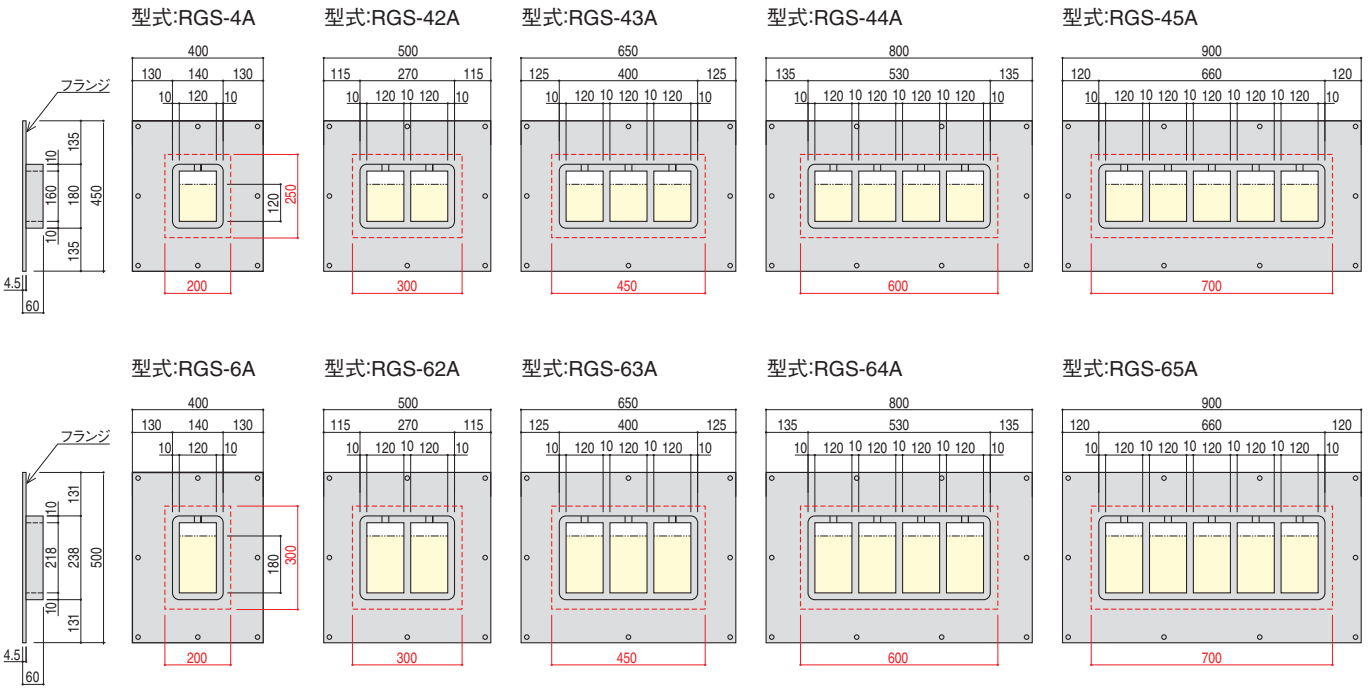
エンドパッキン引抜き工具



ケーブルの撤去、増設の場合のエンドパッキンを引き抜くための工具です。

貫通フレームのサイズ

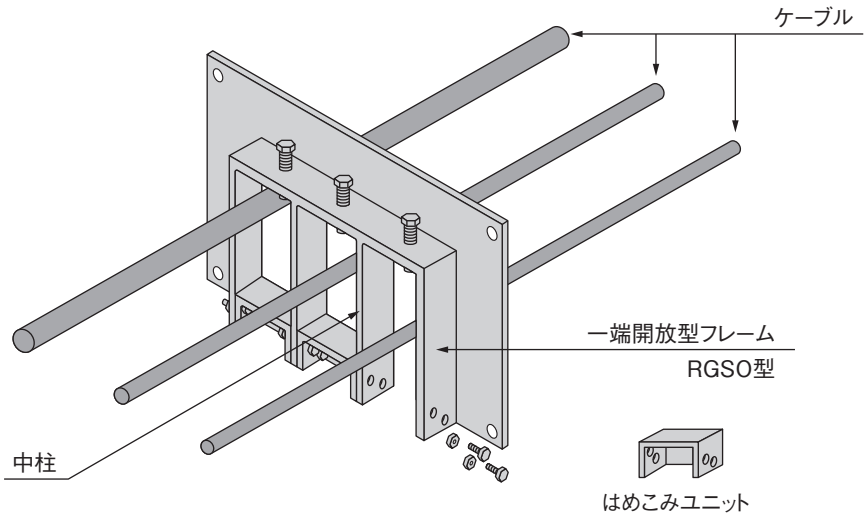
■表面取付け用



赤数字は開口寸法を表します。
フランジ寸法はお打合わせにより調整できます。
□はケーブルが貫通できるスペースです。

特殊貫通フレームも製作できます

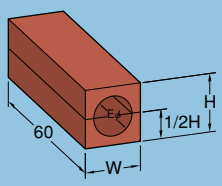
- 一端開放形の貫通フレーム（既通線用）
- 標準以外の大きなサイズ
- 特殊な形状・寸法のフランジ
- 溶融亜鉛めっき処理
- ステンレス（SUS304）製（渦電流対策用）



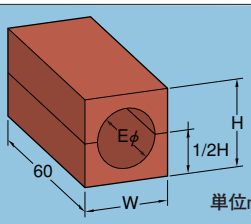
インサートブロックのサイズ

● インサートブロックの種類と寸法

モジュール20
モジュール30
モジュール40
モジュール60



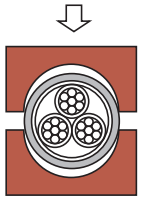
モジュール90
モジュール120



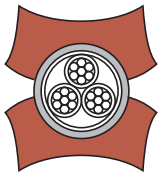
単位mm

▼ケーブル外径寸法とインサートブロックの適合表

ケーブル外径寸法(mm) ～		モジュール 20 W = 20 H = 20 E	部品番号	モジュール 30 W = 30 H = 30 E	部品番号	モジュール 40 W = 40 H = 40 E	部品番号
3.6	4.5	4	20/ 4				
4.6	5.5	5	20/ 5				
5.6	6.5	6	20/ 6				
6.6	7.5	7	20/ 7				
7.6	8.5	8	20/ 8				
8.6	9.5	9	20/ 9				
9.6	10.5	10	20/10				
10.6	11.5	11	20/11				
11.6	12.5	12	20/12	12	30/12		
12.6	13.5	13	20/13	13	30/13		
13.6	14.5	14	20/14	14	30/14		
14.6	15.5			15	30/15		
15.6	16.5			16	30/16		
16.6	17.5			17	30/17		
17.6	18.5			18	30/18		
18.6	19.5			19	30/19		
19.6	20.5			20	30/20		
20.6	21.5			21	30/21		
21.6	22.5			22	30/22	22	40/22
22.6	23.5			23	30/23		
23.6	24.5			24	30/24	24	40/24
24.6	25.5						
25.6	27.5					26	40/26
27.6	29.5					28	40/28
29.6	31.5					30	40/30
31.6	33.5					32	40/32
33.6	35.5					34	40/34



正しい使い方



インサートブロックが小さい場合

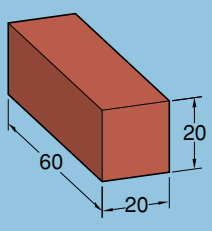
インサートブロックが大きい場合

ケーブル外径寸法(mm) ～		モジュール60 W = 60 H = 60 E	部品番号	モジュール90 W = 90 H = 90 E	部品番号	モジュール120 W = 120 H = 120 E	部品番号
31.6	33.5	32	60/32				
33.6	35.5	34	60/34				
35.6	37.5	36	60/36				
37.6	39.5	38	60/38				
39.6	41.5	40	60/40				
41.6	43.5	42	60/42				
43.6	45.5	44	60/44				
45.6	47.5	46	60/46				
47.6	49.5	48	60/48				
49.6	51.5	50	60/50	50	90/50		
51.6	53.5	52	60/52	52	90/52		
53.6	55.5	54	60/54	54	90/54		
55.6	57.5			56	90/56		
57.6	59.5			58	90/58		
59.6	61.5			60	90/60		
61.6	63.5			62	90/62		
63.6	65.5			64	90/64		
65.6	67.5			66	90/66		
67.6	69.5			68	90/68		
69.6	71.5			70	90/70		
71.6	73.5					72	120/72
73.6	75.5					74	120/74
75.6	77.5					76	120/76
77.6	79.5					78	120/78
79.6	81.5					80	120/80
81.6	83.5					82	120/82
83.6	85.5					84	120/84
85.6	87.5					86	120/86
87.6	89.5					88	120/88
89.6	91.5					90	120/90
91.6	93.5					92	120/92
93.6	95.5					94	120/94
95.6	97.5					96	120/96
97.6	99.5					98	120/98
99.6	101.5					100	120/100

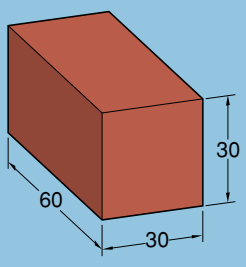
● インサートブロック(スペア)の種類と寸法

2種類を準備しております。

● 部品番号：20/0



● 部品番号：30/0

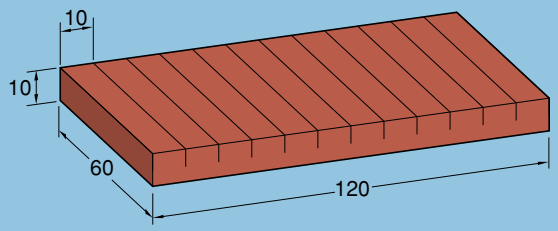


単位mm

● インサートブロック(フィルイン)の寸法

(10mmのスペース調整に使用)

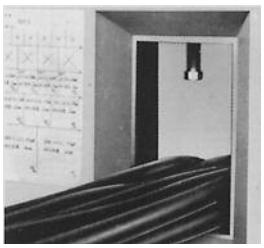
● 部品番号：12×10/0

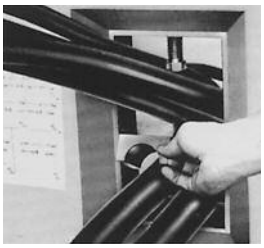


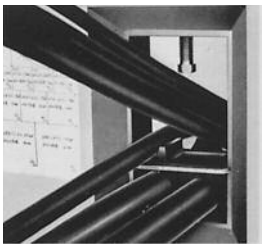
単位mm

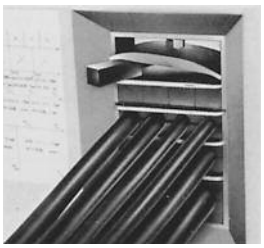
インサートブロック組立て作業順序

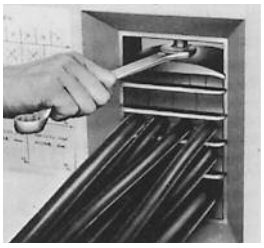
壁貫通の作業順序

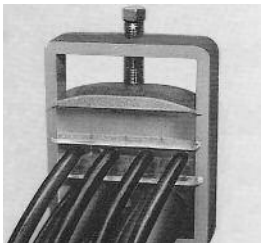

❶電線を貫通フレームに通します。


❷インサートブロックを組合わせます。

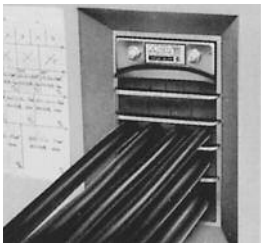

❸ステイプレートをはめこみます。


❹圧縮プレートを挿入します。


❺圧縮ボルトを締めつけます。


❻RGS型も同様に締めつけます。

❼エンドパッキンを挿入します。


❽壁貫通の作業が完了しました。

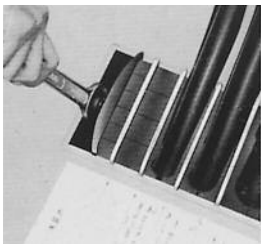
床貫通の作業順序

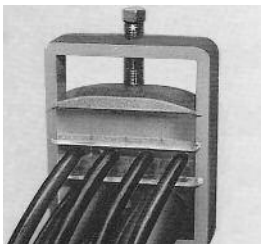
❶電線を貫通フレームに通します。

❷ステイプレートと圧縮プレートをはめこみます。

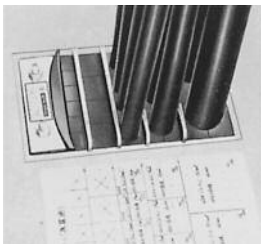
❸インサートブロックを組合わせていきます。

❹最後のインサートブロックを組合わせます。


❺圧縮ボルトを締めつけます。


❻RGS型も同様に締めつけます。

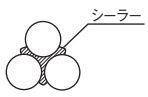
❼エンドパッキンを挿入します。


❽床貫通の作業が完了しました。

● トリプレックスケーブルの場合は下記の手順で作業をしてください。

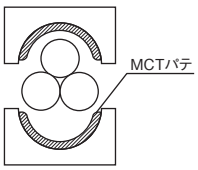
パテは温めて柔らかくしてから御使用ください。

1.



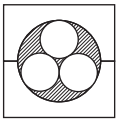
ケーブルの中心部を広げ、
シーラーを充填する。
（耐火目的の場合はMCTパテを充填）

2.



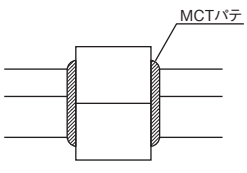
インサートブロックの溝に
MCTパテを充填する。

3.



インサートブロックを
セットする。

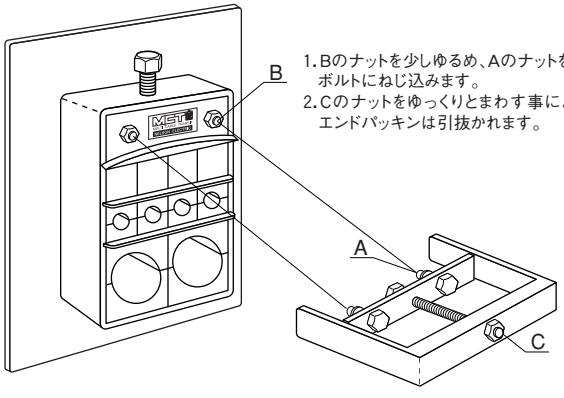
4.



インサートブロックの表面に
出るパテを仕上げる。

● ケーブルの撤去、増設の場合のエンドパッキンの取り外し手順

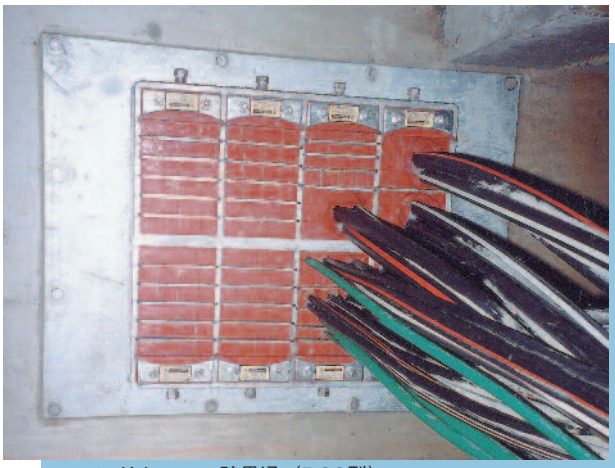
下記の手順で作業をしてください。



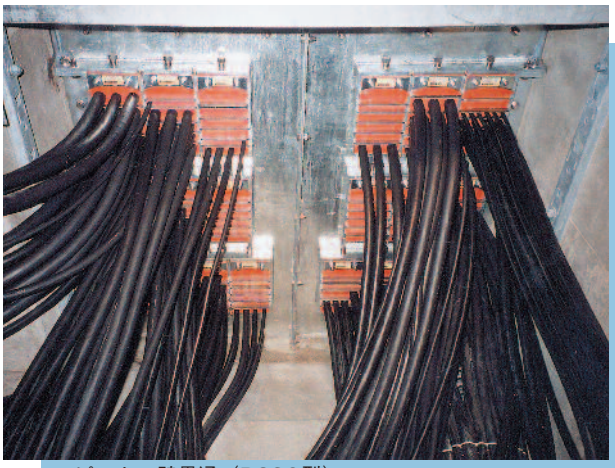
1. Bのナットを少しゆるめ、Aのナットを B部のボルトにねじ込みます。
2. Cのナットをゆっくりとまわす事によって、エンドパッキンは引抜かれます。

エンドパッキン引抜き工具

MCT施工例



▲ハンドホール　壁貫通（RGS型）



▲ピット　壁貫通（RGSO型）

▲EPS　床貫通（RGSO型）

▲ピット　壁貫通（RGSO型）

▲地下通路　壁貫通（RGB型）

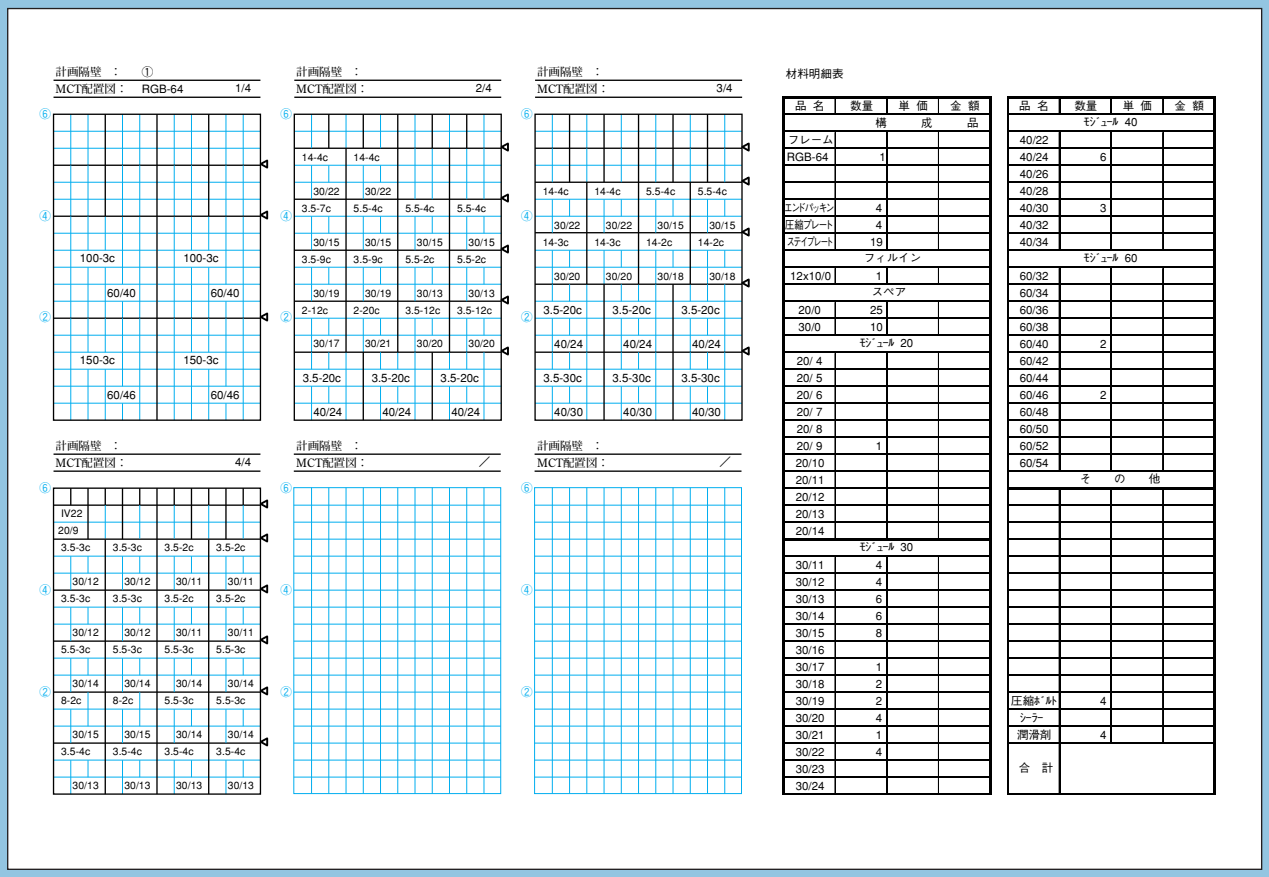
▲制御室　床貫通（RGB型）

お客様のお手数を省きます。

「MCTレイアウト」は当社がおこないます。
● お客様の省力化のために…

①お客様は「電路系統図」を当社にご提示ください。
②「電路系統図」をもとに、開口スペースや貫通するケーブルの種類と本数に応じて、貫通フレームを選定します。
③貫通するケーブルの種類とサイズに応じてインサートブロックを選定し、「MCTレイアウト」を提示致します。

▼「MCTレイアウト」の縮小例です。



品名	数量	単価	金額
構成品			
フレーム			
RGB-64	1		
エンドパッキン	4		
圧縮プレート	4		
ステイプレート	19		
フィルイン			
12x10/0	1		
スペア			
20/0	25		
30/0	10		
ﾓｼﾞｭｰﾙ 20			
20/ 4			
20/ 5			
20/ 6			
20/ 7			
20/ 8			
20/ 9	1		
20/10			
20/11			
20/12			
20/13			
20/14			
ﾓｼﾞｭｰﾙ 30			
30/11	4		
30/12	4		
30/13	6		
30/14	6		
30/15	8		
30/16			
30/17	1		
30/18	2		
30/19	2		
30/20	4		
30/21	1		
30/22	4		
30/23			
30/24			

品名	数量	単価	金額
ﾓｼﾞｭｰﾙ 40			
40/22			
40/24	6		
40/26			
40/28			
40/30	3		
40/32			
40/34			
ﾓｼﾞｭｰﾙ 60			
60/32			
60/34			
60/36			
60/38			
60/40	2		
60/42			
60/44			
60/46	2		
60/48			
60/50			
60/52			
60/54			
その他			
圧縮ﾎﾞﾙﾄ	4		
ｼｰﾗｰ			
潤滑剤	4		
合計			

ケーブル布設後のMCT組込み工事を代行させていただきます。
● ご用命ください。

ご用命は下記にお願いします。

寺崎電気産業株式会社

本　　社　〒547-0002 大阪市平野区加美東六丁目13番47号

機器事業

防　災　課　〒547-0002 大阪市平野区加美東6−13−47
TEL 06-6791-2715　FAX 06-6791-2732

東京営業所　〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町1−6−10 日幸茅場町ビル5F
TEL 03-5644-0160　FAX 03-5644-0161　kiki-tokyo@terasaki.co.jp

大阪営業所　〒547-0002 大阪市平野区加美東6−13−47
TEL 06-6791-2756　FAX 06-6791-2732　kiki-osaka@terasaki.co.jp

東北営業所　〒983-0045 宮城県仙台市宮城野区宮城野3−5−15 宮城野アベニュー1F
TEL 022-296-4230　FAX 022-296-4231

名古屋営業所　〒465-0013 名古屋市名東区社口1−908
TEL 052-760-1401　FAX 052-776-7015　kiki-nagoya@terasaki.co.jp

四国営業所　〒762-0044 香川県坂出市本町3−6−12 さくらビル3F
TEL 0877-85-9001　FAX 0877-85-9002　kiki-shikoku@terasaki.co.jp

九州営業所　〒815-0033 福岡市南区大橋1−2−3 大橋センタービル3F
TEL 092-512-8731　FAX 092-511-0955　kiki-kyushu@terasaki.co.jp

MMXX-3.0K

＊この印刷物でご紹介した定格・仕様をお断りなしに変更することがあるのでご了承下さい。